

# 第13回農業女子プロジェクト 推進会議

2024.12.6

- ✓ 本日の会議は対面とオンラインの併用で開催いたします。
- ✓ 本日の会議はマスクが入るとともに、カメラ撮影があります。また、会議の様子を録画させていただきますので、予めご了承ください。
- ✓ 携帯電話をお持ちの方は、マナーモードに設定いただくようお願いします。

## 【オンライン参加の皆様】

- ✓ 回線状況等により、接続が切れることがあります。再起動の後、同一アドレスからご入場ください。
- ✓ 会議中は、カメラオンにしていただき、発表、発言以外では、ミュートにご参加ください。
- ✓ また、チャットでの質問につきましては、議事の進行上お答えできかねますので、予めご了承ください。

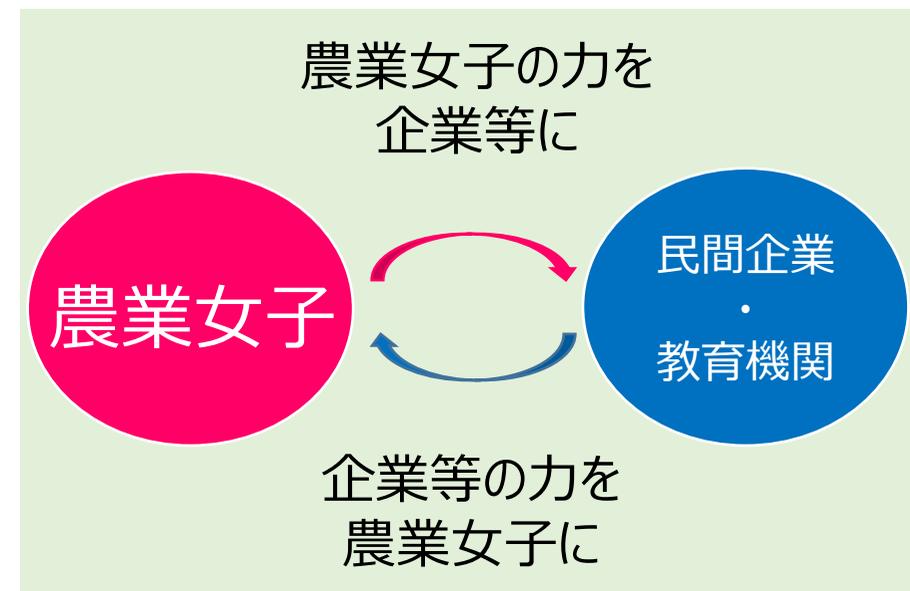
- ◆ 女性農業者の知恵を様々な企業の技術、ノウハウ、アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信。
- ◆ プロジェクトを通して、**社会全体での女性農業者の存在感**を高め、**経営力の向上**を図り、**職業としての農業を選択する若手女性の増加**をめざす。

## 個別プロジェクトの推進

企業と女性農業者が協同で、新たな商品やサービス等を開発。農業女子の持つ3つのチカラ「生産力」「知恵力」「市場力」が発揮。

## プロジェクトの広報活動

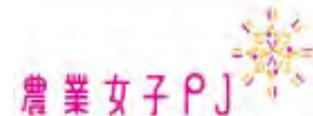
個別プロジェクトの進捗状況、イベントの開催等のプロジェクトの活動を発信 等



広く社会に発信

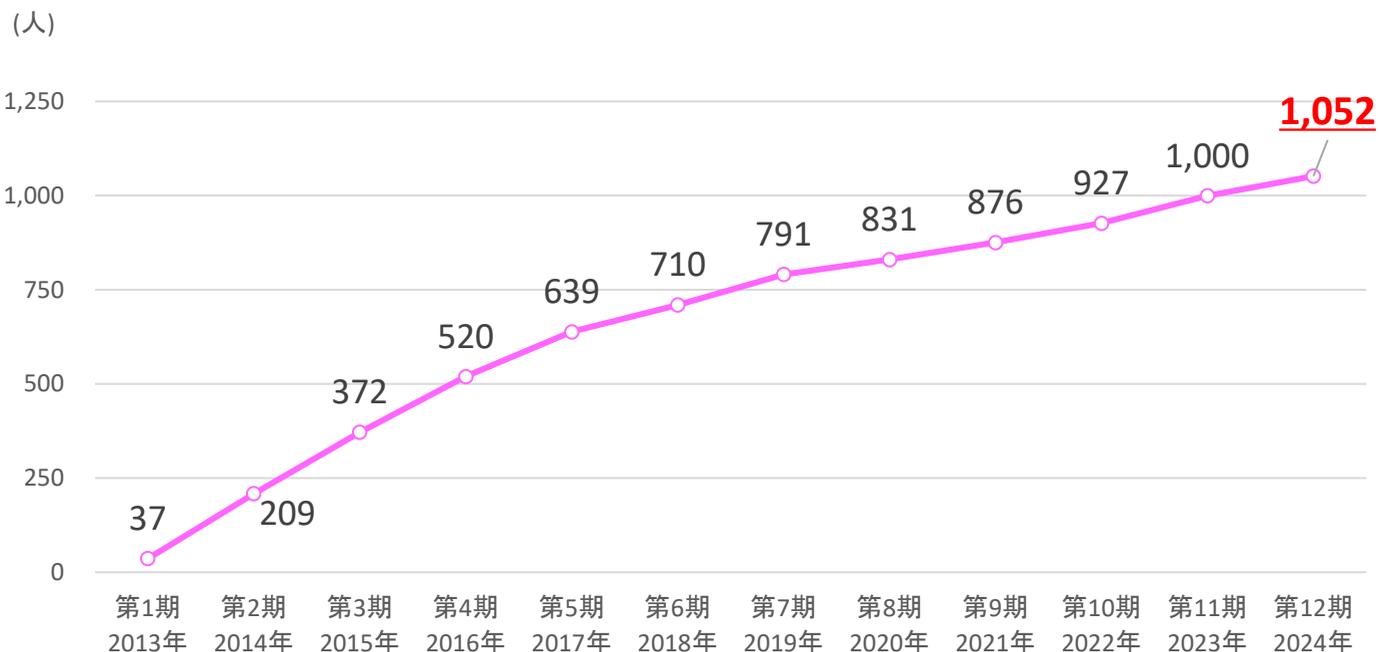
女性農業者の存在感を高める、企業連携によるビジネス発展、女性の職業選択肢に農業を！

# 農業女子メンバーの参画状況

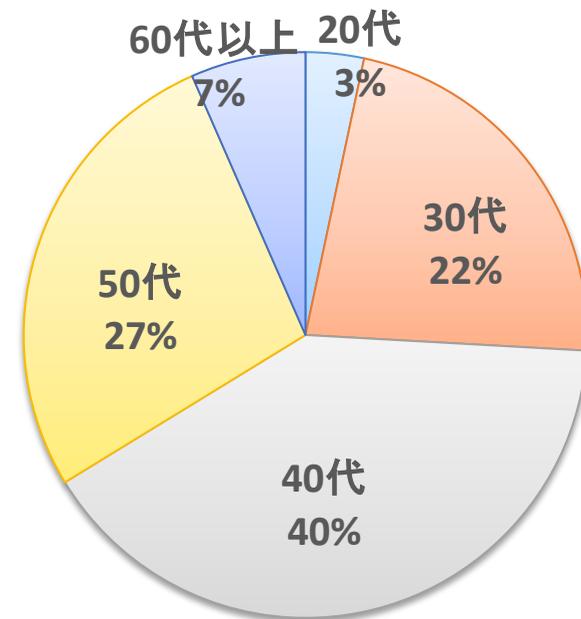


メンバー数：1,052名（2024年11月29日時点）

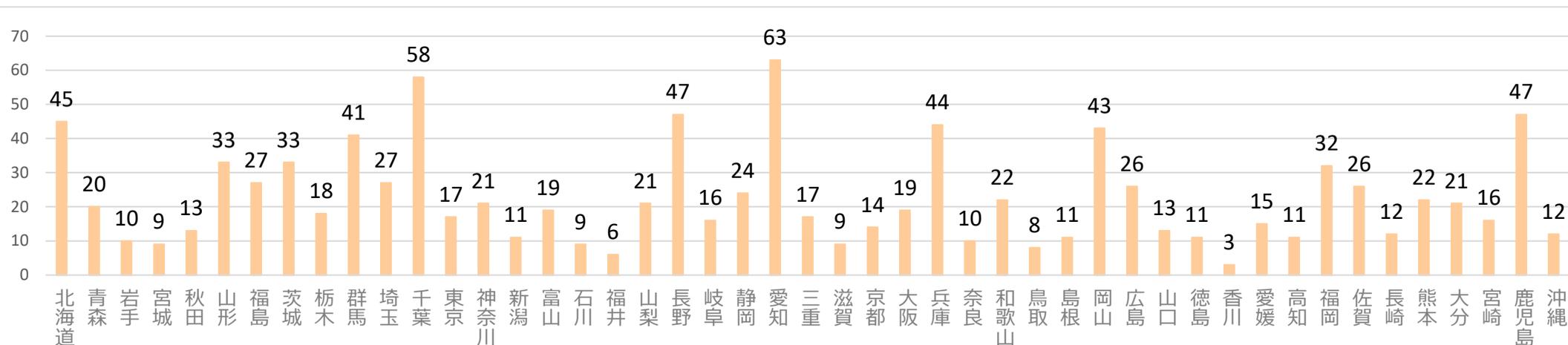
## [メンバー数推移]



## [メンバー年齢構成]



## [都道府県別メンバー数]

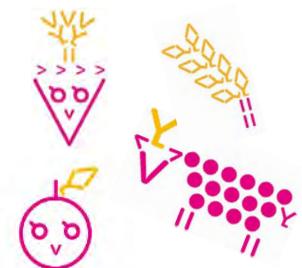


# 農業女子プロジェクトの歩み

- ◆ 2013年11月より「農業女子プロジェクト」始動
- ◆ これまで企業や教育機関との取組の他、農業女子の自主的な活動など各種取組を実施

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
	2013.11～	2014.11～	2015.11～	2016.11～	2017.11～	2018.11～
主な取組	<b>農業女子PJ始動</b> 企業との取組を中心に活動を実施 	<b>農業女子PJ初のSPAアウトグループ結成</b> (おかやま) 	農林水産省イベントへのブース出展等、広報活動を積極化 	次世代の女性農業者を育てる「チームはぐくみ」スタート 	メンバーの自主的勉強会「農業女子ラボ」の始動 	農業女子が取り組むSDGsの発信 地域グループ活動の活性化  

	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	2019.11～	2020.11～	2021.11～	2022.11～	2023.11～
主な取組	★コロナ感染症の拡大 グループ間ネットワークづくりの促進 	オンラインによる会議やセミナー開催の促進 個人のネットワークづくり 	「農」の魅力発信への取組 農業女子アワード2022開催へ 	農業女子PJ10周年を記念し、「農」を身近に感じてもらうイベント「わたしたちの未来への種まき」を開催 	「NEXTラボ」の本格実施 



# 1. 第11期の活動成果

第11期の活動テーマ及び活動方針

- a. 「NEXTラボ」の本格実施
- b. 地域活動の活性化
- c. 「農」の魅力の発信
- d. 主な個別プロジェクト実績

## 3つの活動方針

### 1. 「NEXTラボ」の本格実施

- ・メンバーのニーズに合わせて、学びと交流の場として「NEXTラボ」を継続
- ・企業、先輩女子メンバー、農水省等から、経営力向上につながる最新の情報や先輩メンバーの経験談等を学べるプログラムを2～3コース程度用意
- ・年度ごとのプログラムとし、2024年4月から計画的に実施

### 2. 地域活動の活性化

- ・地域段階でメンバーが交流できる場を設定し、地域活動を活性化
- ・地域段階での企業や教育機関等と農業女子メンバーによる企業プロジェクトやはぐくみ活動を促進
- ・全国イベントの地方開催を検討

### 3. 「農」の魅力の発信

- ・就農相談会における農業女子による相談対応を地域へ拡大
- ・食などに関心のある女性や高校生等への「農」の魅力の発信



事務局・地方農政局が連携して取組を推進

## a. 「NEXTラボ」の本格実施

# 第11期の活動成果 ～「NEXTラボの本格実施」～

- ◆ 2024年6月から2025年2月までに全12回実施予定（各ラボ4回）
- ◆ 3つのテーマのラボで、講師によるセミナーと農業女子メンバー同士の交流会の2部制
- ◆ 農業女子メンバーから、企画・運営を行うアンバサダーを募集し、事務局と協働により開催

## NEXTラボ2024 実施概要 ★事例発表

### ■ 3つのテーマを設定

- 【プロモーションラボ】生産物の売り方見せ方を学ぶ
- 【マネジメントラボ】生産管理等の基礎的な農業経営を学ぶ
- 【ヘルスラボ】女性農業者自身の健康を学ぶ

### ■ 成果

- ・セミナー及び交流会には総じて高い満足度
- ・先輩メンバー、参画企業、農水省に加え、新たな企業・専門家を招き、分かりやすく専門的な知識を習得
- ・学ぶだけでなく実践に発展する取組も（輸出）
- ・交流会での講師・メンバーとの交流が自身の刺激に
- ・アンバサダー制度導入によるメンバーの成長

### ■ 課題

- ・関心度の高いテーマ設定
- ・先輩メンバーの経験談を聞いて、交流しながら学べるプログラムの充実



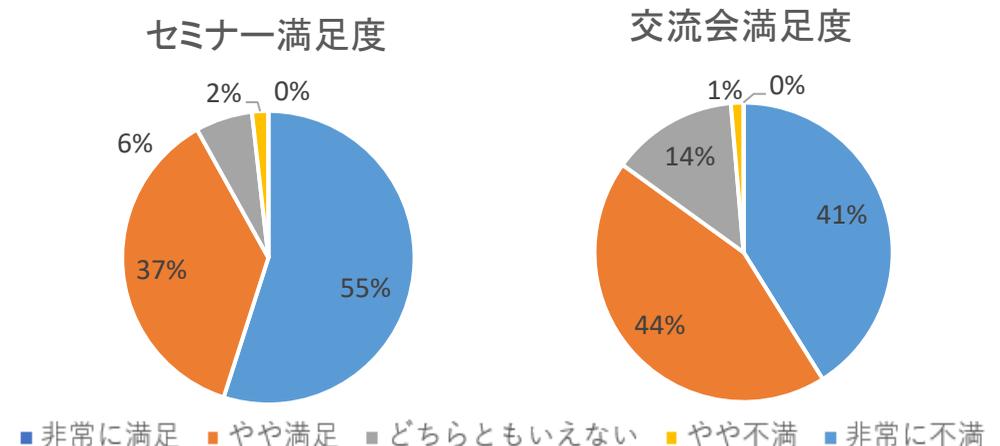
▲第1回プロラボの様子

### ■ NEXTラボ参加状況 2024年12月時点

	平均参加者数	実参加者数※
プロラボ	22.5人	69人
マネラボ	12.3人	
ヘルスラボ	18.7人	

※1回以上参加したメンバー数

### ■ NEXTラボ参加者アンケート



※延べ回答数：111件 / 交流会参加者回答総数：73件

農林水産省  
輸出・国際局輸出支援課

6/6 (木)

輸出のハードルがきっと下がる！

輸出の基本知識や小規模からでも始められる方法について、いろんな目線の方からお伝え。事前に行う受講者からのアンケートを基に、メンバーが聞きたい「輸出のあれこれ」に対応。輸出に興味を持ったメンバーには、輸出実施に向けた次のステップへの案内もあるかも！？

鴨志田農園  
鴨志田 佑衣

9/12 (木)

日々の発信でファン獲得！

鴨志田佑衣さんは、東京都三鷹市で、自家製完熟堆肥で栽培した野菜を使い、日々の食卓を優しい言葉とおいしいような写真で発信。多くのファンに支持されています。そんな鴨志田佑衣さんから、ファン化に繋がるInstagramの活用について、工夫やポイントを詳しくお伝え。

大日本印刷(株)

2025  
1/23 (木)

パッケージのプロに近づく！

印刷に深く関わってきた大日本印刷から、「環境や社会にとって嬉しい」、「自分にとって嬉しい」という2つの価値を軸に、パッケージの進化と潮流を学びます。事前に行う受講者アンケートにより、メンバーの「気になる！」に重きを置いて詳しくお伝え！さまざまな事例からパッケージのヒミツを探しましょう！

(株)三越伊勢丹

2025  
2/27 (木)

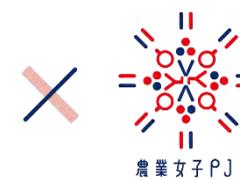
昨年度大好評！

三越銀座店 食品バイヤー目線で見る、最新の売り場動向についてお伝えします。小売の現場から見た、モノづくり、商品の見せ方や売り方について、重点的に解説。事前に応答者から質問を受け付け、メンバーの「知りたい！」にきめ細やかに対応。今回は、コロナ後の売り場事情についても教えちゃいます！

- ◆ 生産物の売り方・見せ方を学ぶプロモーションラボ
- ◆ NEXTラボのセミナーから、省内連携による個別プロジェクトへの発展

## アンバサダーのコメント

- SNSの使い方がよく分かった、早速実践している。
- セミナーから個別プロジェクトへ発展  
～GFP×農業女子PJ 輸出伴走支援プログラム開催～  
セミナー参加者からの「輸出に取り組みたい」というニーズを受け、省内輸出支援課とコラボし、GFPと事業を展開。メンバーの大吉さん等をメンターに香港・ドバイ・シンガーポールに向け、チームでの輸出に取り組む。



▲GFP×農業女子PJ キックオフの様子



▲メンター大吉さん 事業説明の様子



▲SNS 交流会の様子

(一財)日本品質保証機構

7/25(木)

GAPは難しい！

GAPの基礎知識と、審査で散見する間違えやすい事例を紹介し、農業経営に役立つGAPの考え方についてお伝えします。GAP認証取得に対する「難しい」イメージを払拭するとともに、営農活動を改善するためのポイントを理解できます！

社会保険労務士  
鈴木 泰子

10/10(木)

女性が働く環境を見直そう！

雇用契約書の作り方や雇用保険の必要性など、労務管理の基礎についてお伝え。初めての雇用を考えているメンバーも、既に雇用しているメンバーも、育児休業法の改正や働きやすい職場のルールづくりなど、多様な人材に対応できる、知って得する情報がゲットできます！

農林水産省  
経営局保険課

11/7(木)

農業保険を考えるなら今！

「保険」、「共済」って同じなの？保険の基礎的な仕組みや、難しい専門用語、もしもの時の災害への備えなどについて、農水省職員がわかりやすく解説。国と民間の保険は何が違うの？私はどんな保険に入るといいの？保険加入時期、真っ最中の開催です。保険に迷えるメンバー必見！

ソリマチ(株) S&M本部

12/12(木)

これで確定申告はばっちり！

農業会計における経理の効率化について、セミナー開催実績の豊富なソリマチ担当者からわかりやすくお伝え。確定申告前に、ちょっと目を背けたくなる農業会計や農業税制が、最新の会計ソフトでどれだけ自動化できるか見てみましょう！

- ◆ 生産管理等の基礎的な農業経営を学ぶマネジメントラボ
- ◆ 女性が働く環境を見直す労務管理、農業保険など基礎的な知識を習得

## アンバサダーのコメント

- GAPに基づいた「良い農業の考え方」や雇用に欠かせない労務管理、いざというときの備えなど、働くうえで重要な労働環境を、さまざまな角度から考え直す基本を学ぶことができた。
- 基礎的な農業経営について学ぶ機会は少ない。マネジメントラボのセミナーを通して必要な情報を得ることができた。
- 交流会では、参加する農業女子メンバーが行っている事業や、住んでいる地域の良さを発信できるような場づくりに努めたい。



▲第1回セミナーの様子



▲第2回交流会の様子

(株)ポーラ

6/18 (火)

幸福感あふれるスキンケアとメイクで肌もこころもポジティブに！

基礎的な化粧品知識やシミ・シワの対策、忙しい生活の中でもできるスキンケアやメイクの方法から、ポーラ幸せ研究所メソッドによる幸せに繋がる美容法についてお伝え。肌に触れ、自分と向き合う時間を作ることで、なりたい自分になりましょう！

大塚製薬(株)

7/11 (木)

夏場の熱中症対策と女性のための健康づくり！

農作業中に熱中症になる人が増加中！そんな危険な熱中症について、知って得する、すぐ実践できる、夏場の熱中症対策と、女性のための健康づくりについてお伝えします。

味の素(株)

味の素ヘルシーサプライ(株)

8/29 (木)

活かすゼアミノ酸！！  
～アミノ酸で人間と植物の健康を応援～

アミノ酸の基礎知識とアミノ酸摂取が体の維持にどう役立つか解説。人間だけでなく植物には！？

政策研究大学院大学  
教授 片井 みゆき

2025  
2/6 (木)

女性の心と体のお悩み解決！

性差医療の専門家である片井教授から、女性ホルモンをキーワードに、年代ごとの課題と生涯を通した体の変化が及ぼす影響や、その対策などをお伝え。受講者には特別に、体調把握に役立つアプリ「WaiSE」を、事前に無料で利用いただけます！アプリのデータ分析から、女性農業者における特徴等も解説します！

- ◆ 女性農業者自身の健康を考えるヘルスラボ
- ◆ 日焼け対策や熱中症予防、心と体の健康など農業女子プロジェクトらしいテーマを学ぶ

## アンバサダーのコメント

- 農業女子メンバーらしいテーマ設定だった。「健康」をテーマにし、女性農業者が健康で働くためのセミナーを検討。仕事をする上で身近で大事な「健康」をテーマにしたのは良かった。
- 第3回のアミノ酸のセミナーでは、人の健康だけでなく、植物の健康についても学び、異常気象による暑い夏の対策ができた。
- 大人になってから、自身の健康について学ぶ機会はなかなかない。「健康」について一生使える知識を学ぶことができた。



▲第1回セミナーの様子



▲第2回交流会の様子

## b. 地域活動の活性化

## ◆ 各地において女性農業者グループ主催のイベントが開催され、相互交流や農業の魅力を発信

### おかやま農業女子 10周年祭

農業女子プロジェクトのスピナウト第1号の「おかやま農業女子」が10周年を迎え、青果物や加工品、協賛出店など地元行政や参画企業（井関農機(株)、ダイハツ工業(株)、(株)モンベル）の協力を得て記念イベントを開催。【2024/7/21開催】



### ひょうごアグリプリンセスの会 Mini農業女子会 in hyogo

「兵庫農業の魅力発信に向けて」及び「次世代へ繋ぐ農業の取り組み」をテーマに、女性農業者と行政等による活発な交流・意見交換を実施。【2023/12/5開催】



### 愛知県 おしゃれ農女フェスティバル

愛知県豊橋市の地域グループ「おしゃれ農女」が、地元の農産物と農業で働く女子をおしゃれに楽しく伝えるため、道の駅で農産物・加工品、キッチンカーグルメの販売、野菜を使用したゲームを実施。他グループ「@me(アミー)」も出店。

【2024/1/28開催】



### かごしま農業女子プロジェクト 「農園ツアー＆料理教室」

農業女子プロジェクトのスピナウトグループ「かごしま農業女子」が、メンバーの活動を知ってもらうため、鹿児島県内の農業女性や農業に興味のある小学生から学生、その保護者等を対象に「農園ツアー＆料理教室」を開催。【2024/8/6開催】



## ◆ 地方農政局・県拠点による地域企業等との連携・交流の場の創出

### 山梨県拠点×井関農機(株) 山梨県内女性農業者の交流会

県内の女性農業者を対象に「女性農業者にとって安全で快適な農作業」をテーマに交流会を開催。井関農機から刈払機のトラブル対処方法を説明後、同社も参加したグループディスカッションにて農機具に関する情報交換を実施。【2024/2/28開催】



### 新潟県拠点×カネコ総業(株) 越後おんなしよぶっちゃんけトーク

4Hクラブと共催し、県内の女性農業者「おんなしよ※」から話を聞くトークショーを実施。カネコ総業も参加し、農業女子PJで開発した「Lacuno」をご紹介。イベントのために新潟明訓高校書道部が作品も製作。【2023/12/4開催】※おんなしよ：女性のこと



### 近畿農政局 近畿女性農業者交流会

近畿地方の女性農業者グループ等の連携を促進するため、女性農業者のスキルアップやネットワークの構築、消費者に対して農業の魅力を発信する場として学生を交えたディスカッション、農産物等の展示会を開催予定。【2025/1/28予定】



### 大分県拠点×コンビニ×農業女子メンバー

デイリーヤマザキ大分曲店で、みどり戦略推進の一環として、農業女子メンバーの生産物等の常設販売を開始。県拠点の橋渡しで三者コラボが実現。メンバーのプロフィール作成等を行い、情報発信の場として活用。【2024/6/3～販売開始】



## c. 「農」の魅力の発信

- ◆ 農業女子メンバーや参画企業と連携したはぐくみ活動の実施
- ◆ 佐賀大学、宮城大学のチームはぐくみへの参画による教育機関の活動拡大

## 産業能率大学

学生が農業女子メンバーのほ場に出向き、農作業体験とインタビュー内容をInstagramで同世代に向け発信。



## 山形大学× やまがた農業女子ネットワークあぐっと×ミズノ(株)

やまがた農業女子グループあぐっと及びミズノ(株)が山形大学農学部生に講義を実施。講義後、「持続的な農作業」をテーマに学生によるグループ討論を実施。【2024/7/22開催】



## 佐賀大学× さが農業女子カチカチ農楽が～る **NEW!** ★事例発表

さが農業女子カチカチ農楽が～るが佐賀大学農学部学生に講義を実施。農業女子メンバーとの交流を通し、学生が地域の農業と農村の諸問題解決に主体的に関わり、就農へのビジョンを描くことを目指し今期から活動スタート。【2024/7/22開催】



## 宮城大学×井関農機×カネコ総業(株) **NEW!** ★事例発表

農業女子メンバーと参画企業がコラボして開発した、井関農機の歩行型草刈機「プチもあ」、カネコ総業の軽量ショベル「Lacuno」を宮城大学が購入。井関農機が学生にプチもあ等農機講習会を実施。学んだ知識を活かし学生が小中学生への食農教育の実践を通し学生自身の農業のイメージを育むことを目指し、今期から活動スタート。【2024/11/30開催】



# 第11期の活動成果 ～「農」の魅力の発信 イベント出展～

- ◆ 新・農業人フェアで女性相談ブース設置！これから農業を始める方へ農業をPR
- ◆ NIPPON FOOD SHIFT FES.において、農業女子メンバーが食を通して魅力を発信

## 新・農業人フェア 女性相談ブースの設置

新・農業人フェアに「女子のための農業相談コーナー」を設置。農業女子メンバーが相談員として対応。今期から新たに大阪会場でもブースを設置。

### ■ 東京会場～東京国際フォーラム～【2024/8/31開催】

 **相談員** 齋藤さん(千葉県) 細谷さん(千葉県)



### ■ 大阪会場～グランキューブ大阪～【2024/10/27開催】

 **相談員** 小林さん(京都府) 西河さん(大阪府)



## NIPPON FOOD SHIFT FES.2024出店

丸ノ内仲通りでNIPPON FOOD SHIFT FES.2024東京が2日間にわたり開催。

ダイハツ工業(株)の協力のもと、マルシェに使いやすい軽トラ「Nibako」によるマルシェブースを設置。【2024/10/19~20開催】

### 出店メンバー

上野さん(群馬県) 實川さん(千葉県) 相澤さん(長野県)  
作田さん(山口県) 西川さん(高知県) 藤原さん(熊本県)



## d. 主な個別プロジェクト実績

# 主な個別プロジェクト実績

- ◆ 参画企業による個別プロジェクトが活発化
- ◆ 羽田未来総合研究所が、全国の女性農業者グループのコラボマルシェを支援

## 井関農機(株) ★事例発表

女性が女性農業者を支援する井関グループ初の組織横断の女性推進チーム「さなえ倶楽部」が発足。農業女子プロジェクト活動の活性化により、女性農業者へのソリューション活動を強化し、井関グループの女性活躍も促進。【2024/7】



## DNP (大日本印刷(株))

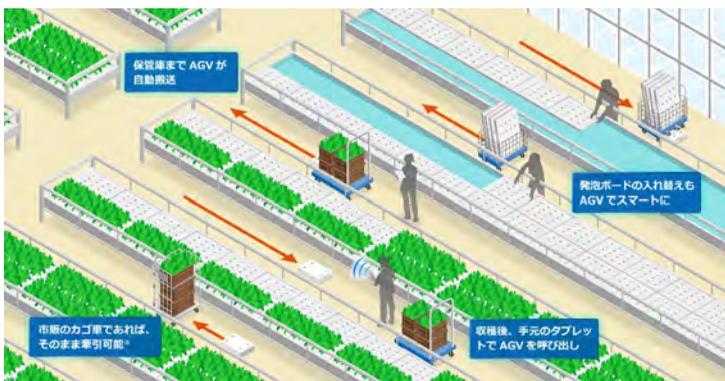
使いやすい農薬用パッケージのコンセプトを農業女子メンバーのアイデアをもとに開発。必要な量だけ取り出して再封できるパッケージや計量に便利なコック付きパッケージを提案し、開発したパッケージは農業WEEK(J-AGRI)で展示。【2024/10/9~11展示】



## シャープ(株)

農業女子メンバーの農作業 省力化・軽労化に資するスマート農業技術（自動搬送装置、運搬ロボット）への意識調査と知見を高めるためのオンラインセミナーを実施。

【2024/7/3 開催】



## (株)羽田未来総合研究所 NEW!

羽田空港第二ターミナルにある情報発信型店舗「和蔵場」にて、生産者直送マルシェを開催。出店者の調整や出店に向けたアドバイスをかごしま農業女子が行い、全国の女性農業グループによるコラボマルシェが実現。定期的な開催を目指す。



▲青森×鹿児島



▲栃木×埼玉

## 三越伊勢丹 農業女子PJ×オンリー・エムアイ企画

3月8日の国際女性デーに合わせて、日本橋三越本店が、女性を想い、エールを贈る特集ウィークを実施。期間中、同店デパ地下の30ブランドが、農業女子メンバー6名の野菜やフルーツを使用したコラボ惣菜・コラボスイーツを販売。

【2024/3/6~19開催】



## 全国農協観光協会

職業体験EXPOにおいて農業女子メンバーが小学生108名へワークショップ等を通じて農業の魅力を伝えました。また、千葉県内農業女子メンバーの圃場にて落花生収穫の援農を初めて実施しました。【EXPO：2024/7/27、援農：2024/9/29開催】



## サポーターズの取組

■ 二子玉川ライズ  
定期的に「二子玉川ストリートマーケット ふたこ座」を開催。農業女子メンバーも参加。



■ 施設園芸.com  
IPM防除と病害虫対策について、オンラインセミナーを実施。

【2024/10/24開催】



## あふ食堂×農業女子プロジェクト

3月10日の「農山漁村女性の日」関連行事として、農林水産省内の食堂等において、全国的女性農業者が手がけた食材を用いたメニューの提供を行う「農業女子フェア」を開催。【2024/3/4~29開催】



▲ 彩り菜園タコライス  
～農業女子の畑から心を込めて～

## 2. 第12期の活動計画

- a. 農業女子リアル大調査の概要
- b. プロジェクト推進体制の見直し・強化について

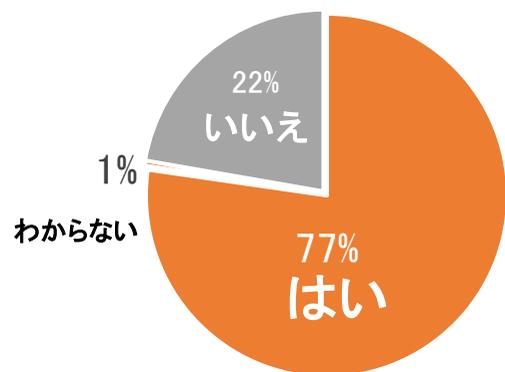
### 第12期の活動計画

- c. 人材育成機能の強化
- d. 地域活動の活性化
- e. 「農」の魅力発信

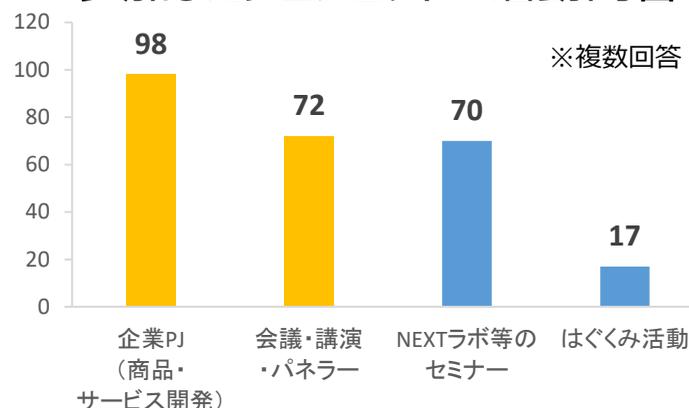
# 農業女子リアル大調査の概要（プロジェクトの成果）

- ◆ これまでの成果と農業女子メンバーの意向を把握するため、農業女子メンバーにアンケート調査「農業女子リアル大調査」を実施（回答数229名）
- ◆ プロジェクトに対する満足度は総じて高く、特に全国の農業女子メンバーとの交流・情報交換に高い満足度
- ◆ 更に、自身の経営発展や、家族・地域の中での女性農業者の認知・活動への理解促進につながっているとの声もあり、プロジェクトの目的に沿った効果

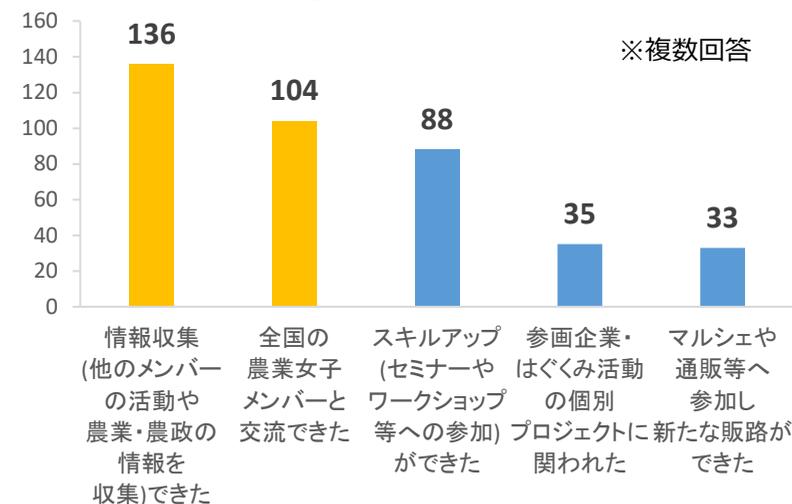
## ■ プロジェクトの満足度



## ■ 参加したプロジェクトの活動内容

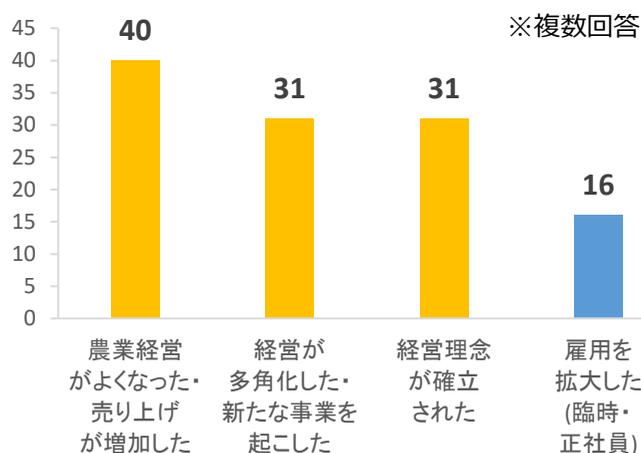


## ■ 活動への満足理由

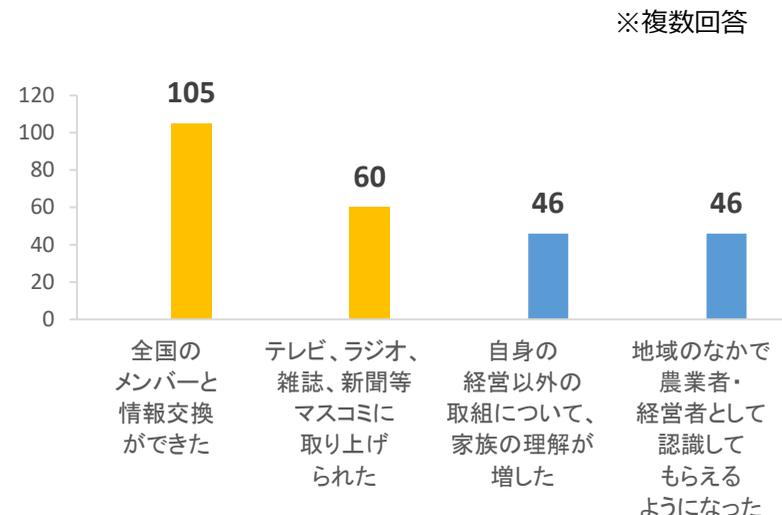


## ■ 活動参加によるメンバーの変化

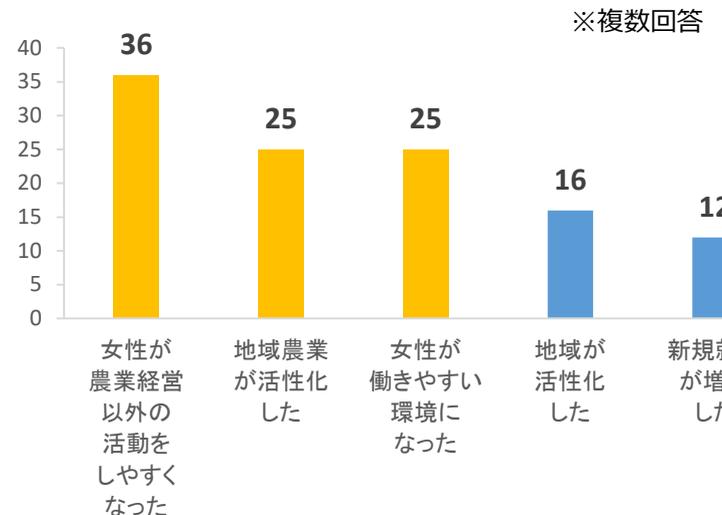
### 【自身の変化（経営面）】



### 【自身の変化（経営面以外）】



### 【周囲の変化】

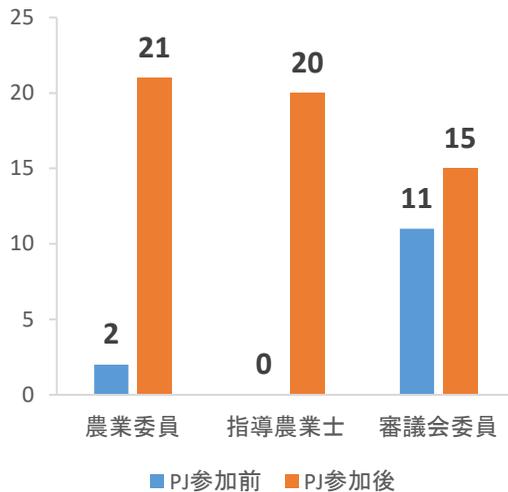


# 農業女子リアル大調査の概要（プロジェクトの成果2）

- ◆ プロジェクト参加後に、認定農業者や農業委員・指導農業士になられた農業女子メンバーも多く、地域農業の発展のために活躍。更に商工会加入で異分野との交流・勉強も
- ◆ 家族・パートナーからも、農業女子メンバーや地域の変化を実感するとの声

## ■ PJ参加前後のメンバーの様子

【外部役員の経験の有無】 ※複数回答

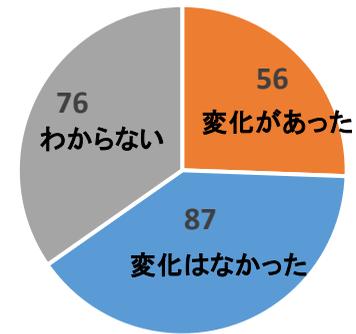


## ■ 家族・パートナーから見たメンバーの姿

【メンバーとしてPJに参加して良かったか】

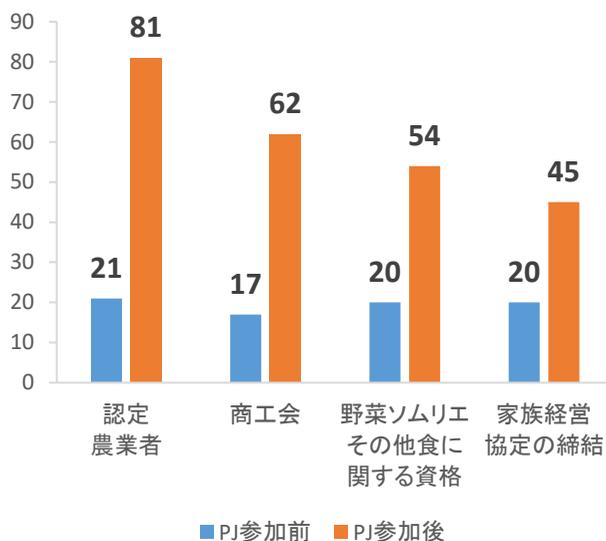


【PJに参加するメンバー自身の変化】

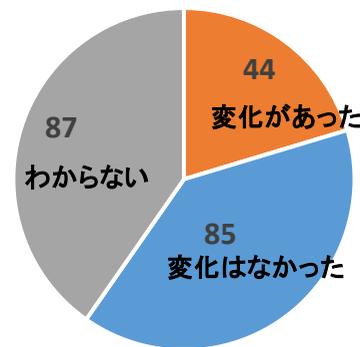


- ・他の農業者や関係機関の方とご縁ができた
- ・**経営に関わり始めた**

【属性・資格の有無】 ※複数回答

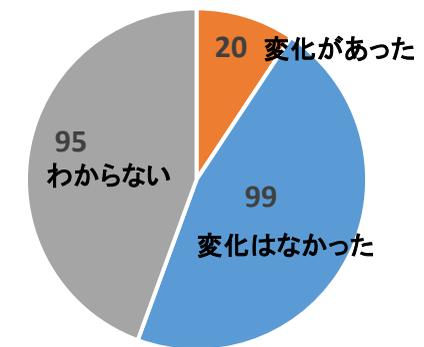


【メンバーがPJに参加したことによる  
家族・パートナーの変化】



- ・農業の可能性を感じた
- ・**妻の発言や行動を受け入れられる**ようになった

【メンバーがPJに参加したことで  
地域の変化は感じるか】



- ・「農業女子」の知名度が上がった
- ・地域の新しい特産品ができた
- ・**農業者として扱ってもらえる**ようになった

# 農業女子リアル大調査の概要（PJに求めるもの）

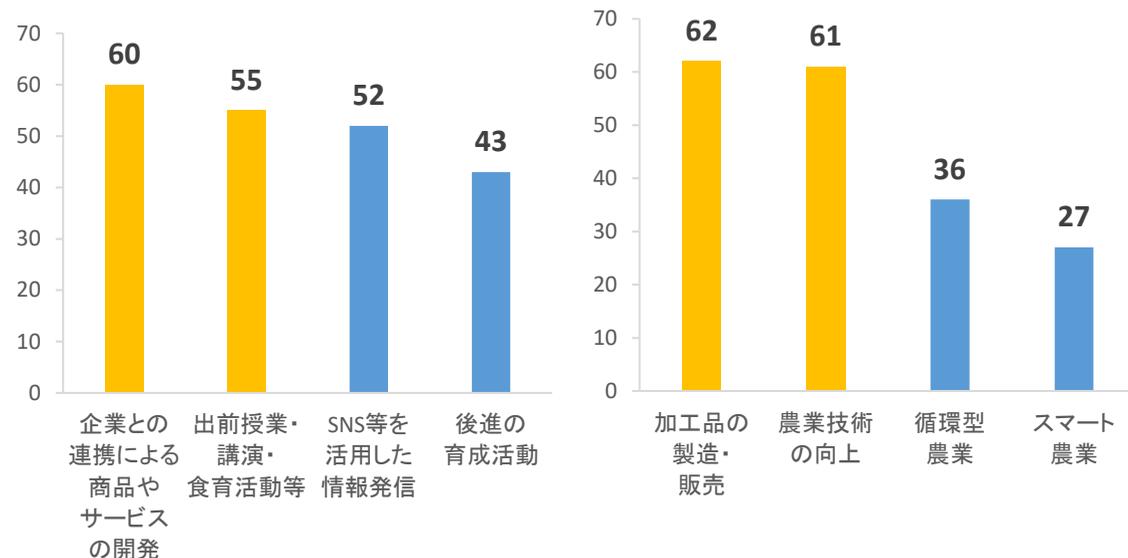
- ◆ スキルアップのための取組、企業との連携や販売力の強化に取り組みたい意向
- ◆ メンター活動や後進の育成活動に取り組みたい農業女子メンバーも存在、農業を未来に繋ぐ意識
- ◆ 地元企業や教育機関と連携し、地域を活かした商品開発へのニーズが高い

回答数：229名

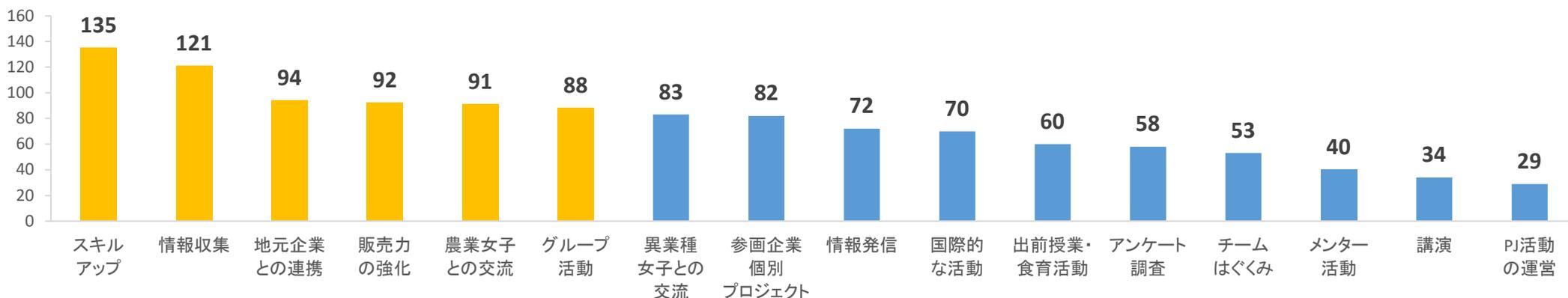
## ■ 将来（3年後）に取り組みたいこと

【自身の農業経営以外】

【その他】



## ■ 農業女子プロジェクトで取り組みたいこと



## ■ 自由記述

### ○自身の経験を活かして、企業や教育機関と取り組みたいこと

- ・女性でも使いやすい、農業機械、作業着、便利グッズの開発
- ・食に関する企業との食育活動
- ・学生と連携し、農業体験とあわせた商品開発
- ・フードロス対策を目的とした商品開発（B級品活用等）
- ・地域特産品の開発による地域活性化

### ○新たに参画してほしい業界、企業

- ・物価高に対応した規格外野菜を活用できる企業
- ・健康食や美容分野、化粧品会社
- ・ドローンメーカーなどスマート農業関連企業
- ・再エネ関連やアグリテック企業
- ・新規分野開拓に意欲的なベンチャー企業
- ・農業系観光商品の開発ができる旅行会社
- ・企業ワーケーションの受け入れ通信会社との連携

## ◆ プロジェクト推進体制の見直しによるプロジェクト活動の活性化

ポイント

○ 就農に向けた研修中の女性を「プレメンバー」として追加

○ 部活・サークル等を「はぐくみ部」として追加

○ 地域でプロジェクトに取り組む企業・団体等も「パートナー」として追加

### 現 行

	農業女子メンバー	参画企業	はぐくみ校	サポーターズ
概要	農業を職業とする女性	農業女子メンバーとプロジェクトに取り組む企業・団体・教育機関等 企業・団体等：参画企業 / 教育機関：はぐくみ校		個人のネットワークにより農業女子PJを応援してくれる方



### 改正案

	農業女子プロジェクトメンバー		パートナーズ ※1、3			サポーターズ ※3
	農業女子メンバー	農業女子プレメンバー ※3	パートナー	はぐくみ隊 ※3		
				はぐくみ校	はぐくみ部	
概要	農業を職業とする女性	農大や研修機関で研修中の就農を希望する女性	農業女子メンバーとプロジェクトに取り組む企業・団体等 ※2	農業女子メンバーとコラボした活動を行う教育機関	農業女子メンバーとコラボした活動を行う部活・サークル等	個人のネットワークにより農業女子PJを応援してくれる方

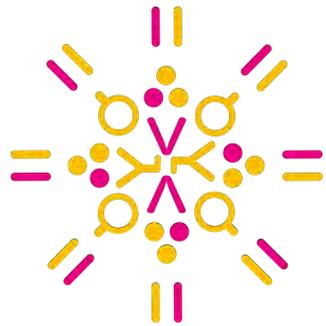
※1 パートナーズ会議を開催し、情報交換やマッチングを実施。

※2 同業種の企業又は団体が個別プロジェクトを実施する場合には、実施の時期、地域(設定する場合)及び参加する農業女子メンバーが重複しないよう事務局と調整の上実施。実施計画書様式を簡素化。地域で活動するパートナーズの運営や管理を地方農政局等に委託可能。

※3 現在のロゴに加え、農業女子プレメンバー、パートナー、はぐくみ隊、サポーターズの独自ロゴを作成。

◆ 既存のロゴに所属を追記し、独自の新ロゴ案を作成

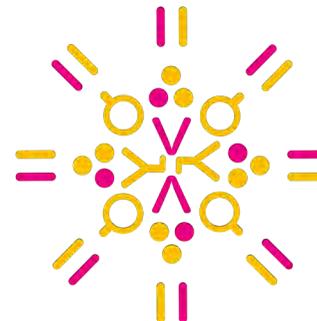
## プレメンバーロゴ案



農業女子PJ  
Pre Member

農業女子PJ   
Pre Member

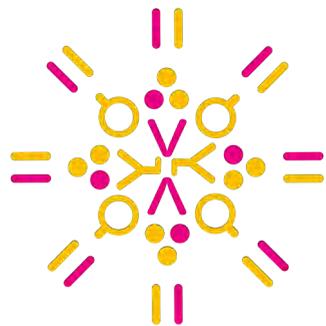
## パートナーロゴ案



農業女子PJ  
Partner

農業女子PJ   
Partner

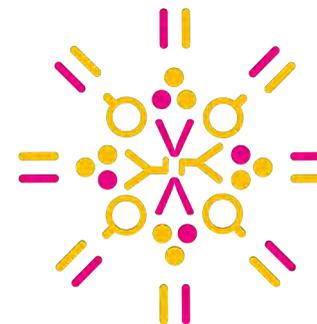
## サポーターズロゴ案



農業女子PJ  
Supporters

農業女子PJ   
Supporters

## はぐくみロゴ案



農業女子PJ  
はぐくみ

農業女子PJ   
はぐくみ

## 3つの活動計画

### 1. 人材育成機能の強化

- ・「NEXTラボ」の深化

  - 新規層：引き続きNEXTラボの受講を推進する。

  - 中間層：アンバサダーとしての参加を通じ企画力・ファシリテーション力の強化を図る。

  - 発展層：経験を後輩に伝える講義機会を設定。分野ごとに学びたい人と教えたい人をマッチングし、実践への一歩につなげていく取組を開始する。

- ・ 農業女子プロジェクトメンバーの自主的取組の拡大

### 2. パートナースとの連携プロジェクトの活性化

- ・ パートナース会議の実施

  - パートナース間の情報交換、コラボレーションの創出促進の場を設定する。

- ・ 地方農政局等と連携した地域活動の取組支援の強化

### 3. 「農」の魅力の発信

- ・ 「農業女子プレメンバー」を位置づけ、農業女子メンバーとの交流を促進

- ・ 「はぐくみ部」の登録を促進し、活動を拡大

- ・ 農業女子の「輪」プロジェクトの開始

  - 農業女子メンバーが自身の取組を農業女子プロジェクト公式インスタグラムで定期的に発信。投稿者が次の発信者を指名し、メンバーの「輪」を繋げる活動を実施する。



事務局・地方農政局が連携して取組を推進

## <改正点>

### ■ 農業女子プロジェクト規約

- ・農業大学校や就農に係る研修機関で研修中の女性を「農業女子プレメンバー」に位置づける。
- ・参画企業をパートナーに改め、同業種の企業・団体等が個別プロジェクトを実施する場合の条件を規定。
- ・参画企業や大学、高校などの教育機関を合わせ、パートナーズに改める。
- ・パートナーズの登録取消規定、取組実績報告の規定を追加。
- ・基本計画書の様式を改め、記載内容を簡素化。

### ■ 未来の農業女子育成チーム“はぐくみ”実施要領

- ・教育機関における部活やサークル等を「はぐくみ部」として位置づける。

### ■ 農業女子プロジェクトメンバー募集要領

- ・農業女子プレメンバーの募集規定を追記し、農業女子プロジェクトメンバーの活動範囲を規定。

### ■ 「農業女子プロジェクト」統一ロゴマーク利用に関する規定

- ・新たにプレメンバー、パートナー、はぐくみ隊、サポーターズのロゴマークを作成。

### ■ 農業女子プロジェクトサポーターズ運営要領

- ・サポーターズの活動の把握及び管理に関する規定を削除。

## 3. ご紹介

- a. 新規参加企業、教育機関
- b. 会場出席メンバー

# 新規参画企業のご紹介

- ◆ 今期から1社、2校が参画企業として新規参画
- ◆ 皆さん、既に活動を始められていらっしゃいますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします！

会社名	株式会社羽田未来総合研究所	
事業内容	羽田空港 和蔵場「生産者直送マルシェ」プロジェクト	
プロジェクト内容	当社が運営する地方創生を軸にした店舗「和蔵場」にて、羽田空港を利用する国内外のお客様へ向けて、「生産者直送マルシェ」と題し、農業女子プロジェクトの活動PR、及び物販販売を実施する。	
会社名	佐賀大学	
事業内容	「カチカチ農楽が〜る」の活動に学ぶ佐賀大生の将来キャリア支援	
プロジェクト内容	さが農業女子カチカチ農楽が〜るのメンバーによる学生への講義やインターンシップの受け入れ、マルシェのコラボ企画など、協働した活動を行い、佐賀大学農学部生が将来の就農に対する明確なビジョンをもつこと。	
会社名	宮城大学	
事業内容	宮城大学チアーズ農園運営学生パワーアッププロジェクト	
プロジェクト内容	学生に対し、参画企業や農業女子メンバーと連携したセミナーや農場訪問を実施。小中学生への食農教育の実践を通じて、学生自身の農業のイメージを具体化させる。	

## プロモーションラボ アンバサダー



垣淵 浩子

- ◆垣淵農園
- ◆和歌山県
- ◆南高梅
- ◆2014年入会



西岡 さち子

- ◆いちご農家 西岡産業
- ◆徳島県
- ◆いちご
- ◆2014年入会



瀬川 知香

- ◆Sweet×Sweet
- ◆鹿児島県
- ◆スイートコーン・ヤングコーン・ポップコーン
- ◆2020年入会



高村 瑞穂 (欠席)

- ◆みらいファームラボ  
株式会社小栗山農園
- ◆青森県
- ◆りんご
- ◆2022年入会



清水 加奈 (欠席)

- ◆有限会社  
マルシゲ清水製茶
- ◆三重県
- ◆かぶせ茶 (刈取り前に黒い布をかけて甘みを出す)
- ◆2014年入会

## マネジメントラボ アンバサダー



川村 靖恵

- ◆川村とまと園
- ◆千葉県
- ◆フルーツマト
- ◆2023年入会



山田 靖子

- ◆くろぜむ農園
- ◆神奈川県
- ◆大根、キャベツ、メロン、トマト
- ◆2017年入会



岡本 尚子

- ◆おかもと農園
- ◆愛知県
- ◆米・次郎柿・野菜
- ◆2016年入会



永井 千春

- ◆Vege TanaQ  
(株式会社 棚久)
- ◆愛知県
- ◆ニンジン(へきなん美人R・碧南鮮紅・えらべるにんじんちゃん)・たまねぎ・季節の野菜
- ◆2014年入会

## ヘルスラボ アンバサダー



榎本 房枝

- ◆さいたま 榎本農園
- ◆埼玉県
- ◆カラフルミニトマト・野菜全般  
(年間100種類ほど)
- ◆2014年入会



石橋 正枝

- ◆ファームいしばし
- ◆千葉県
- ◆ねぎ・うり
- ◆2018年入会



佐藤 文香

- ◆さっちゃんファーム
- ◆愛知県
- ◆トマト・ナス・ブロッコリー等
- ◆2021年入会



藤木 悦子

- ◆藤木農園
- ◆兵庫県
- ◆野菜(トマト、メロン)・米・パレイショ・スイートコーン・大根・白菜等露地野菜・野菜苗等
- ◆2013年入会

## 4. 意見交換会

## ◆ 意見交換

- 第12期において挑戦したいことはありますか？
- 今回の推進体制の強化により、今後どのようなことに取り組みたいですか？

# フリーディスカッション

2024.12.6

- ✓「農業女子メンバー懇談会」は農業女子メンバー同士の交流を目的にZoomブレイクアウトルームを活用して実施します
- ✓ 時間  
16時40分 まで
- ✓ 感想発表  
代表の方からグループごとに感想をお話いただきます
- ✓ トークテーマ：企業とコラボしたいこと